

北京での国際学会を終えて

工学府機械知能工学専攻M1 笠原 梨沙



はじめに

8月19日から23日に中国の北京で開催された国際会議 26th IAHR Symposium on Hydraulic Machinery and Systems に参加し、「相反転方式ポンプ水車ユニットの研究開発」について発表しました。

ポンプ水車は主に揚水発電所で使用され、夜間の余った電力で水車を逆に回転させてポンプとして使い、水を上ダムにくみ上げて位置エネルギーとして貯蔵し、昼間の電力不足時に水を下ダムに落として水車として発電するものです。

近年、再生可能エネルギーの有効

利用が必要不可欠になりつつありますが、太陽光や風力は天候や風況により発電出力が変動する致命傷が問題点としてあげられます。そこで、ポンプ水車による瞬時電力安定化システムの構築を目指した研究を行っています。

北京

私にとって初めての学会であるとともに、初めての渡航でした。福岡空港から韓国・仁川を経由して北京空港に到着し、さらにタクシーに乗りました。空港から1歩出ると、沢山の車に何車線もある広い道路。そこには日本とは全く違った景色が広がっていました。滞在したホテルが繁華街に近かったこともあり、夜中にも関わらず多くの人で溢れかえっていました。北京には日本にはない活気が満ちていて、とても魅力的な国でした。



北京 王府井通り

国際会議

私の発表は学会3日目の夕方でした。北京に出発する直前までほとんど発表練習が出来なかったことや自分の英語力に不安があったこともあり、発表当日は朝から1日中緊張していました。やはり質疑応答の際には、自分の伝えたいことを英語で話すことは難しく、先生方に助けていただく場面がありました。今後の課題として、より英語の学習に力を注ぎたいと思います。

私が中国に滞在中は、中国各地で反日デモが起こっている最中でしたが、幸い、そのような危険な場面に

遭遇することなく、北京市内や清華大学内で出会った方々はとても親切でした。また、バンケットでは、様々な国の学生の方と話すことができ、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。



学会の様子

おわりに

最後になりましたがこのように貴重な体験に経済面で奨学金を援助していただいた明専会、論文執筆および発表内容などを御指導していただいた金元敏明教授に厚く御礼申し上げます。